

授業科目 基礎作業学実習Ⅲ

【担当教員名】 榎本郁子、佐藤陽子	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：G I O>

1. 基礎作業学実習Ⅰ・Ⅱの学習体験を基に、臨床の場を想定し、治療手段としての作業の選択、作業の知識・技術・工夫と応用・指導法を習得し、分析・考察する
2. 作業療法の視点からレクリエーション活動の意義を理解し、知識と技法を習得する

<行動目標：S B O>

1. 1) 治療的応用の為の作業種目を最低10種類は列挙でき、2) 作業に必要な材料・道具（用具）をられ、また、それらを管理できる
3) 他者に、作業に必要な道具（用具）の使用法や材料の特徴を説明できる 4) 作業の技術を他者に指導できる
5) 作業と治療を関連づけて考え、説明できる 6) 限定的作業分析が出来る
2. 1) レクリエーションの意義と役割について述べられる 2) 個別的、集団的なレクリエーションアプローチの方法を述べられる
3) レクリエーションの分類・分析の方法を述べられる 4) レクリエーションの計画が立てられる
5) レクリエーションの目的から評価まで理解し、説明できる 6) レクリエーションを指導できる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	グループ毎で作業の選択	1	講義、グループ 榎本
2	作業実習	2～	
～	1. 資料づくり	4	グループ実習 榎本
6	2. 作業の紹介、材料・道具揃え、工程説明、実技指導		
7	作品紹介・作業分析発表	2～	グループ発表 榎本
8	レクリエーション指導	6	
～		1	講義、実技 佐藤、榎本
14		～	
		6	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	指定しない			
参考書	授業中に紹介する			
その他の資料	プリント			
【評価方法】	【履修上の留意点】			
出席、提出物、授業態度で総合評価				